

第4期のご案内

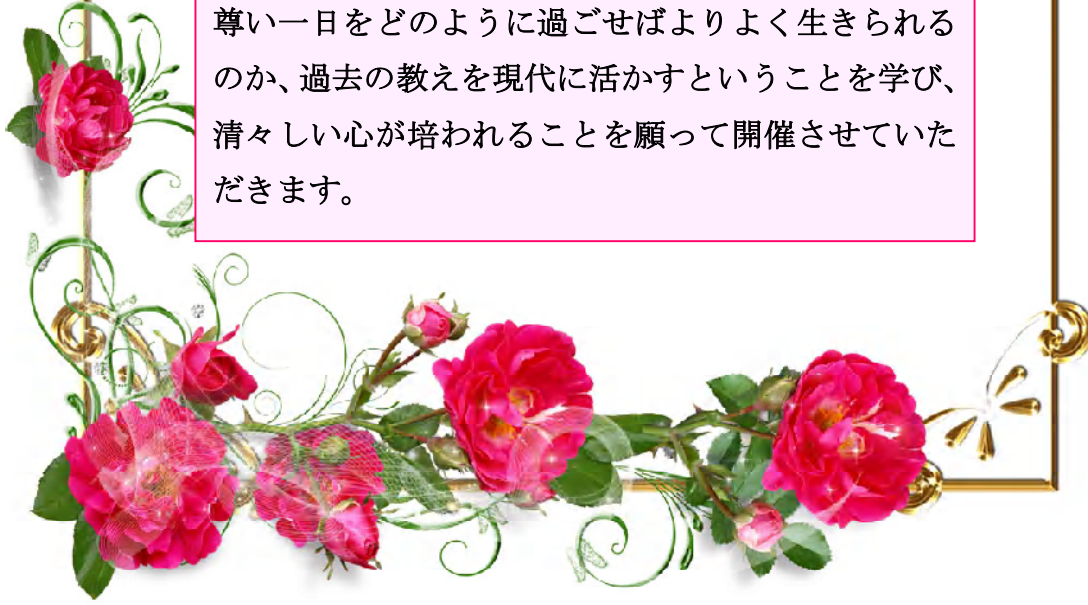
言の葉の道

生きる力を培うために

主宰: 近藤文子

毎日、日々を重ねて時が過ぎて、誰もが生きるということの意味を考えることでしょう。

尊い一日をどのように過ごせばよりよく生きられるのか、過去の教えを現代に活かすということを選び、清々しい心が培われることを願って開催させていただきます。



第4期の講座は下記の通りです。

講座名

「生きる力を培うために」

第1回（1月22日〈木〉 10:00~12:00）

万葉の草木に学ぶ「源氏物語」

源氏物語にはたくさんの草花の名前が人物として登場しますが、それらの草木に込められた性質を活かして、あらすじが構成されて物語になっているということを学びます。新鮮な驚きがあります。

第2回（2月19日〈木〉 10:00~12:00）

現代を流れる「方丈記」

鴨長明の「方丈記」ですが、鎌倉時代の川の流れは今も変わりません。現代の川の流れに何を思うでしょうか？
これからの生き方を流れの中に見い出します。

第3回（3月19日〈木〉 10:00~12:00）

今を息づく「徒然草」

誰もが一日を重ねながら生きています。その一日の時間に何を思うでしょうか？つれづれなるままに・・・心に去来するものは？を語り合しましょう。

第4回（4月23日〈木〉 10:00~12:00）

「生きる力を培う方法」

「人間小宇宙論」と「言の葉の響きは福の神の道となる」
一人ひとり人間には、地球と同じようにそれぞれの宇宙が宿っているのです。その意味合いを知ることが生きる力となります。

万葉の草木に学ぶ「源氏物語」

源氏物語の中には、約100種類にも及ぶ草木が、人物像となって登場します。

作者紫式部は、草木の特徴を人物に置き換えて、物語が展開しています。そしてその草木の役割は、人間の心を行動として表現しています。驚きの物語の発見があります。

現代を流れる「方丈記」

時代は変われども、今を生きるということは、今も昔も変わらず私たちは、現代を生きています。世の中は目まぐるしく変化しても、人の心はどうでしょうか？ ゆく川の流れは・・・自分の心にどのように流れて行くのでしょうか。今を生きているという原点を見つめ、明日に向かう力とします。

今を息づく「徒然草」

人は悩むために生まれてきたのではない。しかし人間は悩める者である。等々言われてきております。が、自分の存在を考えた時、日々何を思い暮らしているのでしょうか？つれづれなるままに・・・平和で穏やかな普遍の心を見出していきます。

「生きる力を培う方法」

よく、人はそれぞれ個性があってとか言いますが、それは人として一人ひとりに自然風景のような風景を宿しているといった捉え方が根本にあります。今回は「人間小宇宙論」と「言の葉の響きは福の神の道となる」を共有し生きる力を培います。

第4期

講座名

「生きる力を培うために」

千葉商工会議所 14 階会議室にて
(ツインビル 2 号館)

【日にち】 2015 年 1 月 22 日 (木)・2 月 19 日 (木)
3 月 19 日 (木)・4 月 23 日 (木)

【時 間】 午前 10 : 00 ~ 12 : 00

【受講料】 全 4 回 10,000 円 (テキスト代込み)

受講ご希望の方は下記申し込み先までご連絡
(ハガキ・電話・FAXにてお願い致します)
頂けますようお願いいたします。

問合せ先・申し込み先

NPO 法人ちば文芸フォーラム 理事長 近藤文子

〒266-0026 千葉市緑区古市場町 500-1

電話 043-264-5528 携帯 090-3096-8425

FAX 043-264-5590 E-mail sorairo@sea.plala.or.jp